

特定行為看護師の紹介

特定行為看護師、、、まだまだ聞きなれないワードだと思います。特定行為を実践することで、患者さんの状態変化への対応や、状態の悪化に繋がる事態を未然に防ぐ役割が大きくあると考えています。また、手術後の患者さんの回復過程を手助けすること、医師、多職種と協働して患者さんに必要な処置や検査などをスムーズに行うことができるようになります。

具体的にどのようなことができるのかは、特定行為看護師それぞれが取得した区分(特定行為が可能な分野が21区分に分けられ、その中に38の行為があります)によって異なります。例えば、医師の手順書にそって、人工呼吸器の設定を患者さんの状態にあったものに変更したり、呼吸の改善に伴い人工呼吸器からの離脱をサポートします。また患者さんの状態の変化や改善を確認するために動脈から血液を採取したり、動脈に血圧測定のためのカテーテルを留置するなどの行為が実践できます。これらの行為は、以前は看護師には実践できないものでしたが、専門的な教育・訓練過程を修了して実践が可能となりました。特定行為が実践できることで、これまで医師の訪床を待って実践していたことが手順書にそって迅速に行われるようになったり、看護師の“気づき”を患者さんの回復のため具体的な行動としてスムーズに還元することができます。

また当院では、RRS(Rapid Response System、患者さんの急変・心停止を未然に防ぐための仕組み)という活動が開始されました。メンバーの一員を特定行為看護師が担い、特定行為研修での専門的な教育で得た知識・技術を活かして病棟をラウンドしたり、病棟からの要請を受けて患者さんの状態を確認、必要であれば医師に必要な検査を提案したり診察を依頼、看護師には観察の要点を伝えたり、急変させないための注意点を助言します。状態によっては、救命救急センターへの転床を提案するなどして、より安全に患者さんが療養できる環境を整えます。

特定行為看護師としての活動が開始されてまだ日が浅く、課題は多く、活動も多岐にわたりますが、より安全で、患者さんにとって有益な活動が実践できるよう努めます。特定行為看護師というと医師の業務量軽減のための仕組みとして捉えられることも多いのですが、看護師としての視点、看護師だからできることを大切に多職種と協働して活動します。



当院の特定行為看護師

ふれあい



11名の研修医が新しい仲間として加わりました。臨床研修指定病院として、地域医療の貢献および次世代の医療人の育成に積極的に取り組んでまいります。

目次

① 遺伝子診療外来の開設について

② 新病院プロジェクト NO.3

・新病院建設工事の進捗状況をお知らせします!

・仮設人工透析室について

③ 特定行為看護師の紹介

④ 市民公開講座

「よくわかる!こどもからおとなまでアレルギー」開催について

市民公開講座「よくわかる!こどもからおとなまでアレルギー」開催について



浜松医療センターは、地域の医療の中心を担う地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院およびアレルギー疾患医療拠点病院として医療に関する情報を広く市民に提供することを目的とし、市民公開講座を開催します。今回は、「アレルギー」をテーマとし、呼吸器内科、耳鼻いんこう科、皮膚科、眼科、小児科などの医師がわかりやすく解説します。

日時:令和4年7月16日(土) 13:45から16:30

定員:100名(申込不要・先着順)

会場:アクトシティ浜松コンgressセンター31会議室

新型コロナウイルス感染状況により、会場での講演をとりやめ、WEB開催に変更する可能性がございます。来場前に必ず、浜松医療センターのホームページで開催の有無を確認してください。

市民公開講座の最新情報は
こちらから



発行:浜松医療センター

〒432-8580 浜松市中区富塚町328

TEL 053 (453) 7111

URL <https://www.hmedc.or.jp>

ご自由にお持ちください

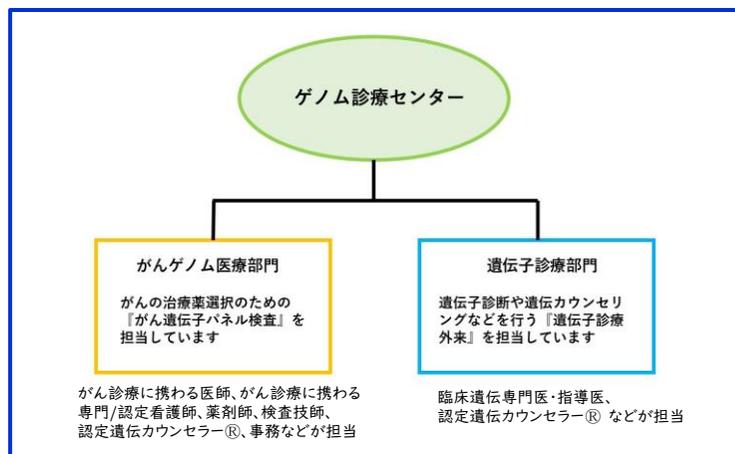


遺伝子診療外来の開設について

令和4年度4月から、当院ゲノム診療センターの遺伝子診療部門では、遺伝子診療外来を開設しました。

近年の臨床・分子遺伝学の進展により、多くの遺伝性・難治性疾患の発生機序があきらかとなってきています。それらの成果を反映して、遺伝学的検査が多くの疾患において保険適応されるようになりました。

遺伝子診療部門は、このような科学の発展を適切に医療に還元することを目的としています。



遺伝子診療外来について

遺伝子診療外来では、遺伝学的検査の方法や限界、適応などを患者さんならびに家族の方に説明し、適切な遺伝学的検査を行いその結果を開示するという一連の流れを担います。そして、遺伝カウンセリングを通じて、遺伝学的検査や遺伝性の病気に伴う患者さんや家族の不安・悩み・疑問に対応し、意思決定をサポートしていきます。

○対象となる方

遺伝性・先天性疾患が疑われる方	出生前～新生児期から、小児期～思春期、成人期の患者さんすべてに対応します。
遺伝性腫瘍が疑われる方	遺伝性乳がん卵巣がんや、遺伝性大腸がんなどの遺伝性腫瘍が疑われる方や、がんの遺伝に不安がある方に対応します

遺伝子診療部門には、遺伝医療の専門家である『臨床遺伝専門医・指導医』、『認定遺伝カウンセラー®』が在籍しており、主治医と連携しながら遺伝診療を行っています。病気の遺伝について知りたい、相談したいという方は、一度主治医にご相談ください。まず、認定遺伝カウンセラー®がご相談内容をお伺いいたします。



新病院建設工事の進捗状況をお知らせします!

新病院工事は順調に進み、3階立上躯体の工事に取り掛かりました。今後は、順次4階-5階の立上躯体工事に進んでいく予定です。5月末時点の工事進捗率は、**21.0%**で、予定通りの進捗となっています。



医療を安全・安心して提供できる新病院の完成を地域の皆さまと共に楽しみに待ちたいと思います。

仮設人工透析室について

現在、南館にある人工透析室は、新病院と3号館を繋ぐ連絡通路設営のため、2022年9月より仮設の施設での受け入れを行っていくこととなります。患者の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いいたします。



救急車侵入経路前、仮設棟